

事業名 ^{ひがしよか} 東与賀海岸堤防耐震対策工事
(シチメンソウ保護育成)

海岸堤防の耐震対策事業を実施するに当たり、学識経験者や地域関係者等からなる研究委員会を設立し、環境に配慮し、町の公園整備事業と一体となった耐震対策及びシチメンソウ保護育成対策事業を行った。自然環境を核とした観光拠点として利用者等の評価の高い事業

受賞機関 国土交通省九州地方整備局
筑後川工事事務所
事業実施期間 平成9年3月14日～平成13年11月30日
事業費 2,662百万円

事業等の特徴

海岸堤防は波浪という自然界でも特に大きな外力を受ける施設であり、しかも軟弱地盤上という悪条件に伴う耐震対策であるが、環境面に配慮するという意欲が強く現れている。地元ボランティアの参加と相まって、観光客数が毎年増加している。

事業の概要と利用者等の評価

本事業は、阪神淡路大震災を契機として、県都佐賀市を始めとする多くの地域を背景地に擁する東与賀海岸において、緊急的に海岸堤防の耐震対策を実施したものである。その際、耐震機能優先の対策だけではなく、環境に配慮し、背後地の公園整備計画と一体となった付加価値の高い堤防づくりとして実施した。

また、当地区には地元東与賀町の観光資源であり、貴重な塩性植物であるシチメンソウが自生しているが、耐震対策によりその自生地が失われるため、種子保存を行うとともに、生育状況の確認を行い、移植ヤードへの移植を実施するなど、シチメンソウの保護育成対策に努めた。また、自生地への盛土は移植ヤードへの活着が確認された後に実施する等、施工計画にも留意した。工事が周辺環境におよぼす影響を把握するため、水質、底質、動植物等のモニタリング調査を工事に並行して実施した。また、押え盛土に使用する土は、他地域の工事で発生した残土を利用し、コスト縮減を図った。

なお、耐震対策を実施するにあたり、「東与賀地区研究委員会」を開催し、幅広い意見を聞きながら堤防整備計画や耐震対策工法、シチメンソウ保護育成対策の実施等の決定を行った。

整備後、シチメンソウ保護育成対策に対する賛否のアンケート調査を全国的に実施し、全回答者(1,076人)のうち87%が賛成している。また、身近な地域(佐賀市、東与賀町、川副町)においては回答者(430人)のうち93%が移植計画への賛成の意志を表明しており、地元住民の合意としての賛成が確認できた。

シチメンソウを自分たちの手で育て保存することを目的に、ボラ

ンティア団体「シチメンソウを育てる会」が平成6年3月25日発足(会員約30名)し、定期的な海岸清掃活動や学習会等を開催するとともに、シチメンソウ保護育成にあたっては、地元東与賀町、地元小中学生、地元ボランティア団体等も参加し、地域と一体となった保護育成を行っている。

これらの活動は、常に報道(TV、新聞等)に取り上げられており、また、地元東与賀町や地元小中学校が広報誌やホームページにより干潟やシチメンソウ等の情報発信を行っている等、地元の関心が高い。

また、地元東与賀町の観光客数は毎年増加傾向にあり、10年前と比較すると23倍の伸び率を示しており、シチメンソウを観光資源とした町づくりに寄与している。

審査委員会委員の意見等

- ・海岸線の景観等、多くの人の関心が高まっている。技術的評価と美観を併せもった改良に光を当てたい。
- ・自然環境保全への配慮が評価できる。
- ・シチメンソウの保護育成に注力した点は理解できるが、堤防周辺の景観が観光客を迎え入れる状況になっていないのではないか。
- ・シチメンソウ保護という一つのテーマを中心に据え、地域づくりとも関連させて堤防の耐震対策を行った事例である。シチメンソウ保護のための追加的費用が通常の耐震対策費用に比べてどの程度のものか記述があれば、さらに効果が明確になったと思われる。

受賞賛助会員 日本鋼弦コンクリート(株)九州営業所



施工前



施工後



シチメンソウ育成